

お悩み解決Q & A



2026年5月発信

2027年度ベースアップ要求について！？



2027年度以降の『グループ共通ベースアップ算出式』について、教えてください！



育児と仕事を両立中 めぐちゃん



2027年度・2028年度の『グループ共通ベースアップ算出式』は、近年の物価変動を踏まえた仕組みになっているよ！



制度のあっきー先生
制度はロジック、野球はパッション！

ポイント

- ・グループ共通ベースアップ算出式は、事前にメンバーズVOICEや労使協議等を経て制度化されています。（有効期限を設けて運用）
- ・物価変動に応じてベースアップ要求（案）を組み立てる仕組みです。

『グループ共通ベースアップ算出式』

詳細は↓↓

<2026年度春の交渉議案書>



① 物価上昇率について

直近の物価上昇の状況を鑑みて、**上限の見直し**を行いました。（前回**2.0%**⇒今回**2.5%**）

計算方法は下記のとおりです。

物価上昇率は、総務省統計局発表の消費者物価指数（全国・総合）を使用しています。

「1月～10月までの物価上昇率合計」



「みなし物価上昇率(11月、12月分)」※
× 2か月

÷ 12

※「みなし物価上昇率(11月、12月分)」→8月、9月、10月の消費者物価指数の平均値を使用

物価上昇率	係数	基礎額×係数	ベースアップ額
0%以下	0.0000	0	0
0.1%	0.0006	202	0
0.2%	0.0012	403	500
0.3%	0.0018	605	500
0.4%	0.0024	806	1,000
0.5%	0.0030	1,008	1,000
0.6%	0.0036	1,210	1,000
0.7%	0.0042	1,411	1,500
0.8%	0.0048	1,613	1,500
0.9%	0.0054	1,814	2,000
1.0%	0.0060	2,016	2,000
1.1%	0.0066	2,218	2,000
1.2%	0.0072	2,419	2,500
1.3%	0.0078	2,621	2,500
1.4%	0.0084	2,822	3,000
1.5%	0.0090	3,024	3,000
1.6%	0.0096	3,226	3,000
1.7%	0.0102	3,427	3,500
1.8%	0.0108	3,629	3,500
1.9%	0.0114	3,830	4,000
2.0%	0.0120	4,032	4,000
2.1%	0.0126	4,234	4,000
2.2%	0.0132	4,435	4,500
2.3%	0.0138	4,637	4,500
2.4%	0.0144	4,838	5,000
2.5%以上	0.0150	5,040	5,000

①

②

② ベースアップ額について

物価上昇の状況を鑑み、**より実効性のある水準を設定**しました。（前回**2,000円**⇒今回**5,000円**）

見方は、①で算出された物価上昇率を表に当てはめ、②欄にて確認。

下記の大きな環境変化が生じた場合には、算出式の取り扱いについて別途労使協議の上で対応することは今までと変わらないよ！

- ①消費増税等、国の政策により物価が上昇した場合
- ②想定外の大幅な物価上昇
- ③災害等によりグループの存続に関わる環境変化が生じた場合など



毎年、春の交渉議案書を確認します！

